

## 2026年度 高円宮杯栃木ユース(U-15)サッカーリーグ実施要項

1. 主 旨 日本サッカーの次代を担う中学生年代(U-15)の技術の向上と、年代別カテゴリーに分ける事により力の拮抗した試合の充実と個々のレベルUPを目的とする。

2. 名 称 栃木ユース(U-15)サッカーリーグ

3. 主 催 (公社) 栃木県サッカー協会

4. 主 管 (公社) 栃木県サッカー協会 第3種委員会

5. 後 援 栃木県教育委員会 栃木県スポーツ協会 栃木県中学校体育連盟  
栃木県クラブユースサッカー連盟

6. 期 日 2026年2月から10月

7. 会 場 3種委員会及び参加チームが会場を用意する。

### 8. 参加資格

1) (公財) 日本サッカー協会第3種に登録したチーム。

ただし、リーグ参加初年度のチームは、3部後期より参加(研修試合)を認める。

2) 上記 1)のチームに登録された選手であること。

3) 2011年4月2日以降の出生者を対象とする。(新中学3年生以下)

4) クラブ申請をした中より、第4種年代の選手の出場も可とする。

5) 大会の運営に協力し、日程を厳守し、参加することが可能であるチーム。

6) 大会に関する連絡等はメールにて行うので、それに対応可能であること。

### 9. 選手登録

1) 本大会は、前期リーグの試合については、2026年1月31日(土)までに登録を完了してある選手。後期リーグは2026年5月31日(日)までに登録を完了された選手で構成されたチームとする。

2) 選手登録は最大30名とし、選手登録用紙にて登録すること。

3) 第4種年代の選手登録は5名迄とし、同時出場は2名以内とする。

4) 外国籍選手の登録は5名迄とし、同時出場は3名以内とする。

5) 中体連に限り新1年生の追加登録を認める。追加登録期間 4月1日(土) ~ 5月31日(土)

6) 登録期間外の新規選手登録・選手登録変更是原則として認めないが、諸事情による選手登録の申請についてでは理由を書面に記し3種委員長へ提出することにより3種委員会で検討を行う。

7) 選手証は前期リーグについては2025年度、後期リーグについては2026年度のものを使用する。

### 10. 2チーム登録

1) 各チーム単独で活動できなければならない。

2) 同じスタッフの登録は可能だが、監督は別の者が務めなければならない。

3) 前期後期の間に選手の入れ替えはできるが、背番号は固有のものとし、警告も引き継がれる。

### 11. 他の大会へのリンク

1) 1部リーグ1位に「関東2部リーグ」の参入権を与える。

2) 1部リーグ8チーム(1位~8位)に「協会長杯兼高円宮杯関東大会出場決定戦のシード権」を与える。

### 12. 競技方法と昇格・降格

1) 1部10チーム及び2部(A・Bブロック)各8チームは前期・後期の総当たりで実施する。3部は参加チーム数によりブロック分けを行い、前期は総当たりで実施し、後期は前期の結果で上位から下位のブロックに分けて総当たりを実施する。

※リーグの編成は、前年のリーグ結果に基づき1部・2部・3部を編成する。

※2022年以降、暑熱や大会期間が緩和されれば、各部チーム数について、3種委員会で協議する。

2) 昇格・降格について

※関東3種委員会においての変更や記載されていないケースが生じた場合は県3種委員会で協議する。

①昇格について

・1部の1位は関東リーグ2部へ参入する。

・2部(A・Bブロック)の1位は、1部へ昇格する。

- ・3部後期リーグAブロックの1位・2位は2部へ昇格する。
- ・合同チームが昇格の権利を得た場合、翌年度も同じ合同チームなら昇格を認める。

②降格について

- ・1部の9位・10位は2部へ降格する。ただし、関東リーグから降格がない場合は10位のみ降格する。
- 関東リーグから降格が1チームの場合は9位・10位が降格し、2チームの場合は8位・9位・10位が降格する。
- ・2部の8位(A・Bブロック)は3部へ降格する。

3) 順位決定については、以下の方法で決定する。

- ① 勝点は、勝ち3点、引き分け1点、負け0点とし、総勝点の多いチームを上位とする。
- ② 総勝点が同じ場合は、得失点差の大きいチームを上位とする。
- ③ 得失点差が同じ場合は、総得点の多いチームを上位とする。
- ④ 総得点が同じ場合は、当該チーム同士の対戦結果で決定する。
- ⑤ 対戦結果が同じ場合は抽選とする。

4) 試合時間は、1部・2部が80分(40-10-40)、3部が60分(30-10-30)とする。

※1部・2部の試合時間は、暑熱対策として、この限りではない。(ナイター開催が望ましい)

### 13. 競技規則

- 1) (公財)日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則2025／26」による。更に本年度中FIFAの考え方に基づき、JFAより出された「通達文」及び「覚書」・「規則の解釈や適用方法の文章」も同じ効力をを持つ。
- 2) 選手交代は19名の交代要員の中から9名までの交代が認められる。(1部2部は再交代は認めない。)  
交代用紙を使用する。(交代用紙はチームで用意)  
①選手交代は、後半の交代回数を最大3回までとする。(1回に複数人を交代することは可能)  
ただし、ハーフタイムでの交代は、回数に含まれない。  
②交代回数3回を利用し終わった後、GKがプレーを続行することができないような負傷をした場合、交代が認められている人数の交代をまだ行ていなければ、4回目の交代をすることができる。すでに認められた交代人数の交代を終えている場合は交代は認められず、フィールドプレーヤーがGKを務める。  
(ユニホーム着用は主審の判断による)  
③脳震盪の疑いによる交代  
・1試合において、各チーム最大1人の「脳震盪による交代」を使うことができる。  
・相手チームが「脳震盪による交代」を使用した場合は、自チームは追加で1名を交代させることができる。  
(この場合の交代理由は脳震盪であるか否かを問わない)  
・「脳震盪による交代」は、「通常の」交代の回数の制限とは別に取り扱われる。  
・チームが「脳震盪による交代」を「通常の」交代に合わせて行った場合、1回の「通常の」交代としてカウントされる。  
3) 本大会期間中、警告を通算3回(1部)または2回(2部・3部)受けた選手(役員は、次の1試合に出場出来ない。  
1部3回以降は2回で次の試合に出場できない。  
これを繰り返した選手についてはそれ以降の処置を大会規律委員会(又は3種委員会)で決定する。  
4) 本大会において退場を命じられた選手・役員は、次の1試合に出場出来ない。違反行為の内容によってはそれ以降の処置を大会規律委員会(又は3種委員会)で決定する。

### 14. ユニフォーム

- 1) ユニフォーム(シャツ、パンツ、ストッキング)は正の他に副として、正と異なる色のユニフォーム(シャツ、パンツ、ストッキング)を各試合に必ず用意すること。
- 2) 審判員が通常着用する黒色のシャツと色が類似するシャツの使用はGKを含めて認めない。
- 3) 背番号は前期後期ともに選手固有のものとし、原則としてリーグ途中での変更は認めない。但し、登録を抹消した選手の背番号を新たに登録した選手が付けることは認める。変更の際は事務局に新たなメンバー表の提出を行う。
- 4) ユニフォームのシャツの前面、背面にメンバー表に登録した番号を必ず付けること。パンツの番号は任意とし、番号はユニフォームと一致させる。各番号の大きさと位置についてはユニフォーム規定を参考とする。
- 5) アームバンドについては3種委員会が認めたものは使用可とする。表示はCかメーカー名ロゴ(50cm<sup>2</sup>以下)は認め。

### 15. 参加費・運営協力費

- 1) 参加費は、1チーム50,000円(1部・2部)20,000円(3部)とする。  
また、その他登録チームが参加する場合、運営協力費として10,000円を徴収する。
- 2) 大会にエントリーするチームは2025年12月18日(木)までに参加費の振込みを完了すること。  
(振込名には、チーム名を必ず入れること)
- 3) 参加費の振込先

足利銀行 一条町支店 普通 3552508 口座名義 (公社)栃木県サッカー協会一般  
(振込手数料等は、各チームで負担してください。)

#### 16. 申込み (大会エントリー)

- 1) 前期のリーグに参加できないチームでも、後期3部下位リーグからの参加を認める。
- 2) 同じチームから複数参加を認めるが、同一リーグに所属することはできない。  
また、関東リーグ及び県リーグで同時登録(変更を含む)することはできない。ただし、前期終了後の登録変更の際に所属を変えることができる。なお、背番号は選手固有のものとする。
- 3) 第4種年代の選手を出場させるチームは、その試合の時点でクラブ申請の手続きが完了していること。
- 4) 選手数が不足しており複数チームによる「合同チーム」の大会参加については、次の条件を満たしており3種委員長の承認を得た場合において認めることとする。
  - ① 中体連加盟のチームに限り認め、合同は3チームまでとする。
  - ② 合同するチーム及び選手は「8. 参加資格」を満たしていること。
  - ③ 極端な勝利至上主義を目的とする合同チームではないこと。
  - ④ 大会参加申込の手続きは、それぞれのチーム代表者が協議の上、代表となるチームが行う。
  - ⑤ 合同チームとしての参加を3種リーグ委員長が必ず承認すること。
- 5) 大会エントリーについて2025年12月15日(月)までにグーグルフォームにて行う。  
グーグルフォーム <https://forms.gle/aFt3PbsTb9tfQt58A>

- 6) 大会にエントリーするチームは後日開かれるリーグ代表者会議への出席を義務付ける。

【代表者会議】 会場 栃木県グリーンスタジアム 会議室  
日時 12月20日(土) 15:30 1部・2部・3部

#### 17. 大会日程

- 1) スケジュールについては、2026年2月～10月とする。
- 2) リーグ戦最終期日は原則として2026年10月31日とする。
- 3) 各リーグにおいて日程調査票を提出する際、学校行事による日程変更については2回までは考慮する。ただし、日程が決まってからの変更是認めない。
- 4) 決められた日程で試合を消化する事を原則とするが、日程が決定した後、前・後期各1回の日程変更申請を書面にて記し、3種委員長へ提出することにより3種委員会で検討を行う。  
(中体連のチームに関しては、この限りではない。)

#### 18. 本部(会場)責任者の役割

- 1) 本部責任者は試合開始30分前に、マネージャーズミーティングを開催し、両チームのユニフォームを確認し大会要項・出場停止選手の確認・諸注意事項等の説明を行う。  
チーム関係者は、マネージャーズミーティングに必ず成人スタッフ、1名以上を参加させるものとする。  
試合を行う両チームはマネージャーズミーティングまでに、ユニフォームを話合いで決定する。決定しない場合は本部責任者においてコイントスで行う。
- 2) 「審判証」の確認をする。主審、副審がいない場合の対応をする。
- 3) 会場管理と本部設営、ピッチライン、ゴール、コーナーフラッグ、副審フラッグ、エアーポンプ、WBGT計測器(6月～9月)の用意。
- 4) 「試合記録報告書」を作成し、指定された方法で事務局に報告する。
- 5) 「メンバー表」及び「選手証」に不測の事態が生じた場合の対応。判断ができない場合は3種委員長及び大会役員へ連絡すること。  
写真付き選手証不携帯の場合は、電子登録証(写真があるもの)を提示することでも可能とする。
- 6) 問題が発生した場合の報告義務

- ① 試合中であれば、主審への確に助言し、必要に応じて主審が対応するとともに審判報告書等で報告する。
- ② 試合終了後や試合以外について、不適切な行為等が確認された場合は、会場責任者が、「重要事項報告書」に詳細を記入し報告する。
- ③ 報告書を提出する場合は可能な限り事実の確認を行い、報告する旨を関係者へ連絡すること。

## 19. 試合結果報告

会場責任者は試合結果報告書、審判報告書、重要事項報告書(記載のある場合)をメールかFAXで運営担当へ報告する。(当日の19:00までに)

3種リーグ運営担当	FAX番号
PCメールアドレス	携帯番号

## 20. その他

- 1) メンバー表のスタッフが変更になる場合は、事前に別途メンバー表を下記に提出する。(7日前まで)  
送信先メールアドレス tochigi@clubyouth.net
- 2) チームベンチにはメンバー表に記入された指導者・登録選手のみとし、保護者等のベンチ入りは一切認めない。
- 3) 保護者等の応援位置や駐車箇所については本部責任者の指示に必ず従うこと。
- 4) 暑熱対策について、試合開始前(30分前)WBGT31°C以上の場合は、環境が整うまで試合は行わず、改善が見られない場合は、中止とし順延とする。なお、試合開始後(ハーフタイム)WBGT31°Cを超えた場合は、JFAの熱中症対策<A>・<B>を確実に行った場合に限り試合続行を認める。また、事前に高温多湿が予想される場合は中止の判断を行う。
- 5) 雷雨による中断後の試合再開は中断時間から残りの試合時間で再開とする。  
試合が後半30分を経過し中断となり再開不能となった場合は、その時点での結果を持って試合は成立したものとみなす。(40分ハーフは後半30分、35分ハーフは後半25分、30分ハーフは後半20分)  
試合成立条件を満たしていない中止の場合は改めて再試合を行う。
- 6) 大会試合球は、各チーム(1~2個)持ち寄ることとする。(試合球として相応しい物)  
なお、試合球は指定されたボールを使用する。(アディダス(2025)・モルテン(2026))  
また、3部リーグに関しては指定球以外でも可とする(特にクレーコート)
- 7) 負傷者については各チームにて対応することとし、主催者及び主管者は一切の責任を負わない。
- 8) 大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険に加入していること。
- 9) 大会に多大な支障を発生させたチームには、3種委員会にて処分を決定する。処分の内容については「試合結果の反映をしない」など。
- 10) やむを得ずリーグを棄権するチームは速やかに3種委員長まで連絡する。
- 11) 試合開始時刻に試合を開始できないチームは、その1試合に限り不戦敗とする。この場合は(0-5)の不戦敗とし、その後の大会参加、成績等の取り扱いについては3種委員会にて決定する。
- 12) 試合当日、不測の事由により「試合開始時間に到着することができない」または「参加が困難な場合」は3種委員長と本部担当者に試合開始時間の1時間前に必ず連絡をすること。連絡がない場合は前項14)を適用する。
- 13) 日程が消化できない場合の順位は、3種委員会にて協議を行い決定する。
- 14) 要項に記載されていない事項は3種委員長と協議する。  
なお、本大会要項は今年度のみの採用とし、今年度のリーグ閉幕後、3種委員会にて省みて、適宜改訂・改善を検討していくものとする。
- 15) 全てのリーグにおいて、審判員は成人の有資格者又はユースの有資格者とする。  
3部リーグについては、副審のみ選手可能とするが有資格者とする。(中体連については努力義務とする。)  
また、各チームの帯同審判員1名は成人の有資格者とする。

## 21. 大会役員(兼 規律・フェアプレー委員)

・ 3種委員長 大島聰

- 3種副委員長 糸井悦夫 根岸誠一
- 3種審判委員長 高橋義幸 西海石誠
- 3種委員 御子貝和亮 長榮一郎 菅谷昌広 藤沼昂平 渡部真宏 荒川正明  
石田浩之 佐田洋子 山崎透 水野暁彦 松田正俊 高瀬みなみ 福田嘉輝